

FPの家、住まい方アドバイス

最終号
夏号

☆快適で省エネ！正しい夏の住まい方☆

7月に入り、いよいよ暑い夏がやってきますね。

さて皆さん。毎年快適な夏を過ごしていますか？今日は風がふいているから窓を開けよう！なんて…思っていないですか？

たしかに電気料金のことを考えると気軽に冷房をかけようと思えないという気持ちは、よくわかります。しかし！涼しい風のふく春や秋ならまだしも、夏に窓を開けてしまうとFPの家には不利なことばかりなのです！！

まず、FPの家では24時間計画換気システムが作動しています。そのため窓を開けて換気をする必要はございません。窓を開けることで、計画換気システムの意味が無くなってしまふのと同時に、外の湿気を取り込んでしまい暑さの不快感が増してしまいます。また、窓を開けることによって外気の熱が室内に入ります。不用意に室内に熱をとりこんでしまうと、熱を逃がしにくいというFPの家の特性が災いし、かえって室温が上がってしまうのです。室温が上がると、その後使用した場合の冷房費も上がってしまいます…。

窓は開けない！



大変くだいようですが、窓は開けないでください。夏の暑さ対策を考えて建てられた従来の住宅とは違い、窓を開けることで上記に書いたような不具合が生じます。

冷房は、設定温度少し高め

快適さとは、実際の室内温度よりも体感温度が重要です。体感温度というのは床・壁・天井の『表面温度』が関わってきます。表面温度が高い場合、体感温度も上がり室内が暑く感じます。

しかしFPの家は、ウレタン断熱材の性能により表面温度と室内温度に大きな差がでません。

そこで、冷やしすぎにも注意が必要です。

健康に害がないよう、少し高めの設定温度で様子を見ながら皆さんのご家庭のちょうどよい温度を探しましょう。



あともう1つ。窓から入る日射熱にも注意してみましょう。自動車を思い出してみてください。冬の晴れの日、車内が外気温に関わらず暖かく感じたことはありませんか？これは太陽の熱エネルギーをガラスから車内に取り込み、蓄熱しているからです。家も同じです。南側の窓から入ってくる日射熱が室内温度を上げているのかもしれない。

日射熱を遮りたい場合、室内のカーテンやブラインドよりも、窓の外への対策が効果的です。すだれ、オーニング、シェードネット等を窓の外に使用すれば日射熱を効率良く遮ることができます。室内の温度上昇を抑えれば冷房費の節約につながります。

暑さを我慢して節約するのではなく、正しい住まい方で、冷房費の節約を目指しましょう。

☆湿度のお話～夏ver.～☆

このニューズペーパーの秋号で、湿度が下がりすぎないように住み方で工夫をするというお話をしました。しかし夏の場合は湿度が上がらすぎるのは逆効果です。体感温度は表面温度で左右されると書きましたが、湿度でも、体感温度は変化します。湿度を15%下げると、体感温度が1℃下がります。冬は湿度を上げる工夫をすることによって、体感温度の面でも有利だったのです。

FPの家は普通の住宅よりも湿度が低めなので普通に暮らしていれば大丈夫。しかし24時間換気システムを正しく作動させるため、窓は開けずに過ごしましょう。そして家中が均一になるように、各部屋のドアは開放してください。同様に、浴室のドアも開放していただきたいのですが、夏場はお風呂掃除の後、床や浴槽の水気を拭き取っておくと良いでしょう。また、あまり外気温が高くない日の場合はエアコンを冷房ではなく、除湿モードでの運転にするのもオススメです。

余談になりますが、エアコンのスイッチはON・OFFを小まめにしないことを推奨致します。一見節電しているように思えますが、運転開始時の電力が思いのほかかかってしまうため、意外と電気が使われてしまいます。とくに、最近のエアコンは賢いので運転中でもちゃんと節電してくれます。あまりマメにつけたり消したりせず、時には思い切ってつけっぱなしで過ごしてみましょう。

☆岩崎工務店よりご挨拶☆

いつもお世話になっております。FPの家の住み心地はいかがででしょうか？

秋号から発行していたこのニューズペーパーも、この夏号で四季を終え、最終号を迎えました。FPの家にお住まいのお客様にむけて、FPの家の正しい住まい方・もっとよくなる住まい方を少しでも多く伝えたくて発行してきました。新しい発見があった方にはもちろん、こんなの全部知ってるよ！と思いながら読んでいただいた方も、FPの家の特性をおさらいするきっかけになっていけば嬉しいです。

今までの日本古来の住宅は、夏の暑さを軽減するため風通しの良いつくりになっていました。しかしFPの家は雪国でも快適に過ごせるよう、冬を重要視して作られた住宅です。テーマが全然違うのだから、住まい方も全然違って当然なのです。夏は風を入れるために窓を開けるのが当然！と思っていた方も、今までの住宅の考えを少し切り離して、『FPの家の住まい方』をしてみてください。

高气密高断熱の住宅はかつてシックハウスの原因と言われました。しかし、あれから何年も経ち、住宅の気密性と健康の関連性が立証されました。断熱性は省エネと結び付けられ、今では国が省エネで長持ちする住宅が増えるよう政策をどんどん行うようになりました。何年も前から皆さんが住んでいるFPの家に、時代がやっとおいついてきたと言えると思います。

いつまでも『FPの家を選んで良かった』とっていてほしい。そして、これからは皆様が快適に、健康に、笑顔で住み続けていてほしい。これが岩崎工務店の願いです。最後まで読んでいただき、ありがとうございました(^_^)

(有)岩崎工務店 福井県敦賀市金ヶ崎町5-27

TEL: 0770-22-3860 FAX: 0770-22-2535

Web: <http://www.iwasakik.co.jp>

Original Frame & Urethan Panel

